

A horizontal banner with a blue background and a rainbow gradient at the top. It contains various white icons representing technology, such as a keyboard, a smartphone, a laptop, a camera, a music note, a cloud, a shopping cart, and a game controller.

2023年3月期第3四半期 決算説明資料

2023年2月14日

ソースネクスト株式会社

1. ハイライト

2. 事業の近況

3. 今後の業績戦略

4. 補足資料

総括








- 3Q単体では連結の営業損益が前期比で改善
- ソースネクスト単体では3Qも2Qに続き営業利益黒字
- 3Q累計では以下を主因とし当期純利益が対前期比で減少
 - ✓ PC出荷市場の戻りが鈍い影響により当社パソコンソフト販売が落込み
 - ・・・前期比▲210百万円
 - ✓ 事業拡大のための人件費、広告宣伝費等SGAの増加
 - ・・・前期比▲274百万円

トピックス

- ポケットーク累計出荷台数100万台突破
- ポケットーク社累計資金調達額が37億円に
- Amazon等の国内webサイトでの販売好調
- 「AutoMemo」累計アカウント数50,000アカウント突破

前期比較 (YoY) PL比較

(単位：百万円)

	2022年3月期 3Q累計	2023年3月期 3Q累計	前年同期比		
			増減金額	増減率	
売上	7,800	7,770	▲30	▲0.4%	
営業利益	▲920	▲1,416	▲495	▲53.8%	
営業利益率	▲11.8%	▲18.2%	-	▲6.4pt	
経常利益	▲853	▲1,414	▲561	▲65.8%	
経常利益率	▲10.9%	▲18.2%	-	▲7.3pt	
四半期純利益	▲759	▲1,332	▲572	▲75.4%	
四半期純利益率	▲9.7%	▲17.1%	-	▲7.4	

※ 四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

※ 前期より企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」を適用しております。

3Q単体では営業損益が前期比で改善

(単位：百万円)

3Q累計

	2022年3月期	2023年3月期
売上	7,800	7,770
営業利益	▲920	▲1,416
営業利益率	▲11.8%	▲18.2%
経常利益	▲853	▲1,414
経常利益率	▲9.7%	▲18.2%

3Q単体

	2022年3月期	2023年3月期
売上	2,804	3,161
営業利益	▲351	▲111
営業利益率	▲12.5%	▲3.5%
経常利益	▲340	▲294
経常利益率	▲12.2%	▲9.3%

ソースネクスト単体は、3Qも営業利益黒字を継続

(単位：百万円)

ソースネクスト単体

	2023年3月期 3Q累計	2023年3月期 1Q	2023年3月期 2Q	2023年3月期 3Q
売上	6,714	1,680	2,226	2,807
営業利益	▲158	▲505	22	324
営業利益率	▲2.4%	▲30.1%	1.0%	11.6%
経常利益	▲33	▲341	104	203
経常利益率	▲0.5%	▲20.3%	4.7%	7.2%

※ ソースネクスト社の数字は連結会社間の内部取引等を消去した後の金額です。

年賀状ソフトのキャッシュカウ化に成功

【市場】年賀状発行枚数

2021年	2022年	前年比	
		増減	増減率
19億800万枚	16億8,400万枚	▲2億2,300万枚	▲11.7%

出典：日本郵便発表をもとに当社作成

【当社】年賀状ソフト実績 前期比較（2Q+3Q）

（単位：百万円）

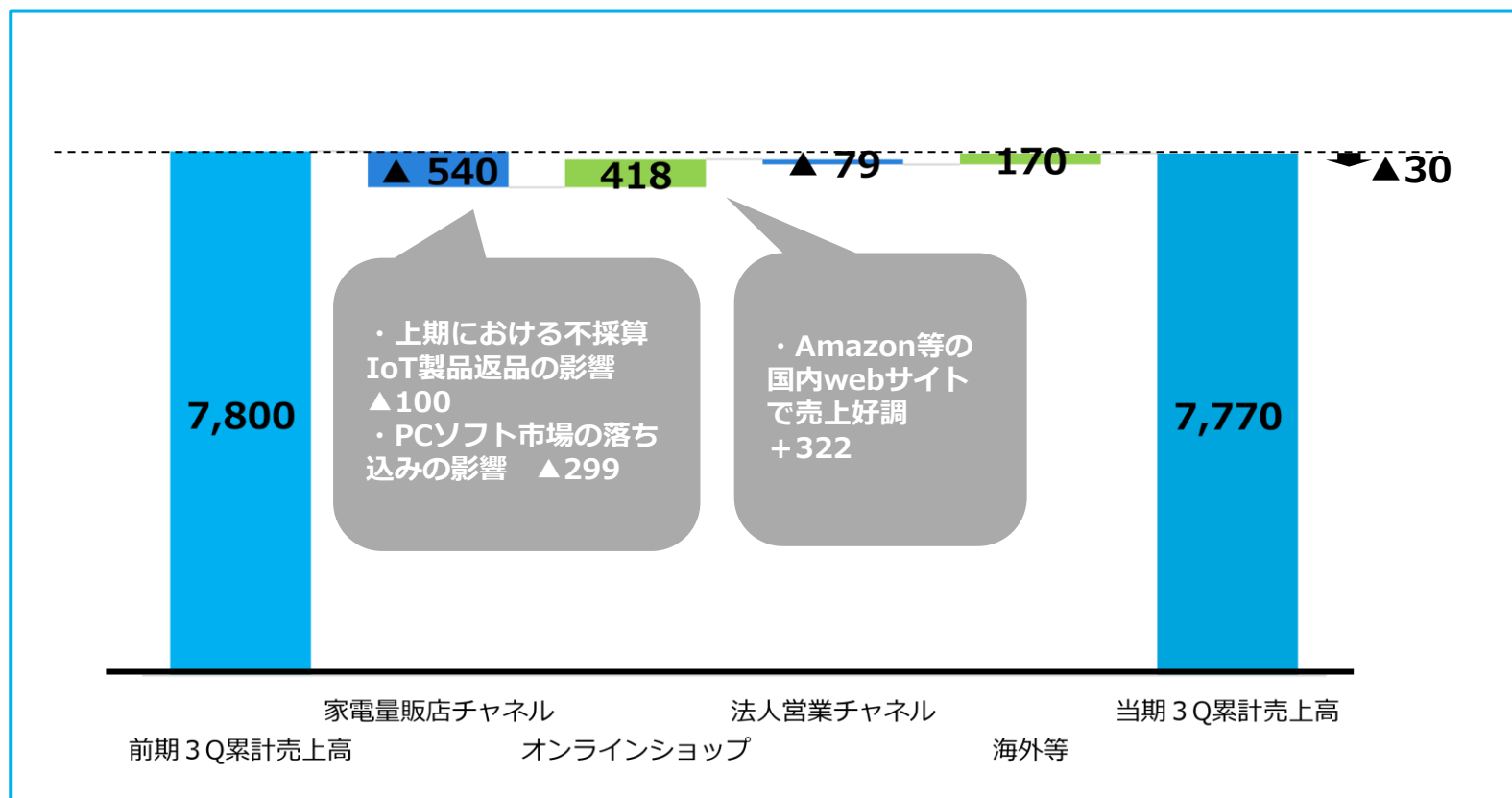
	2022年3月期 2Q+3Q	2023年3月期 2Q+3Q	前期比	
			増減金額	増減率
売上	1,276	1,226	▲49	▲3.9%
粗利	1,226	1,214	▲12	▲1.0%

年賀状発行枚数は前期比で11.7%下落したものの、販売方式の変更や自動課金の推進により、売上下落を抑制しつつ、粗利は前期と同水準を維持することに成功

前期比較 (YoY) 売上比較ウォーターフォール (チャンネル別)

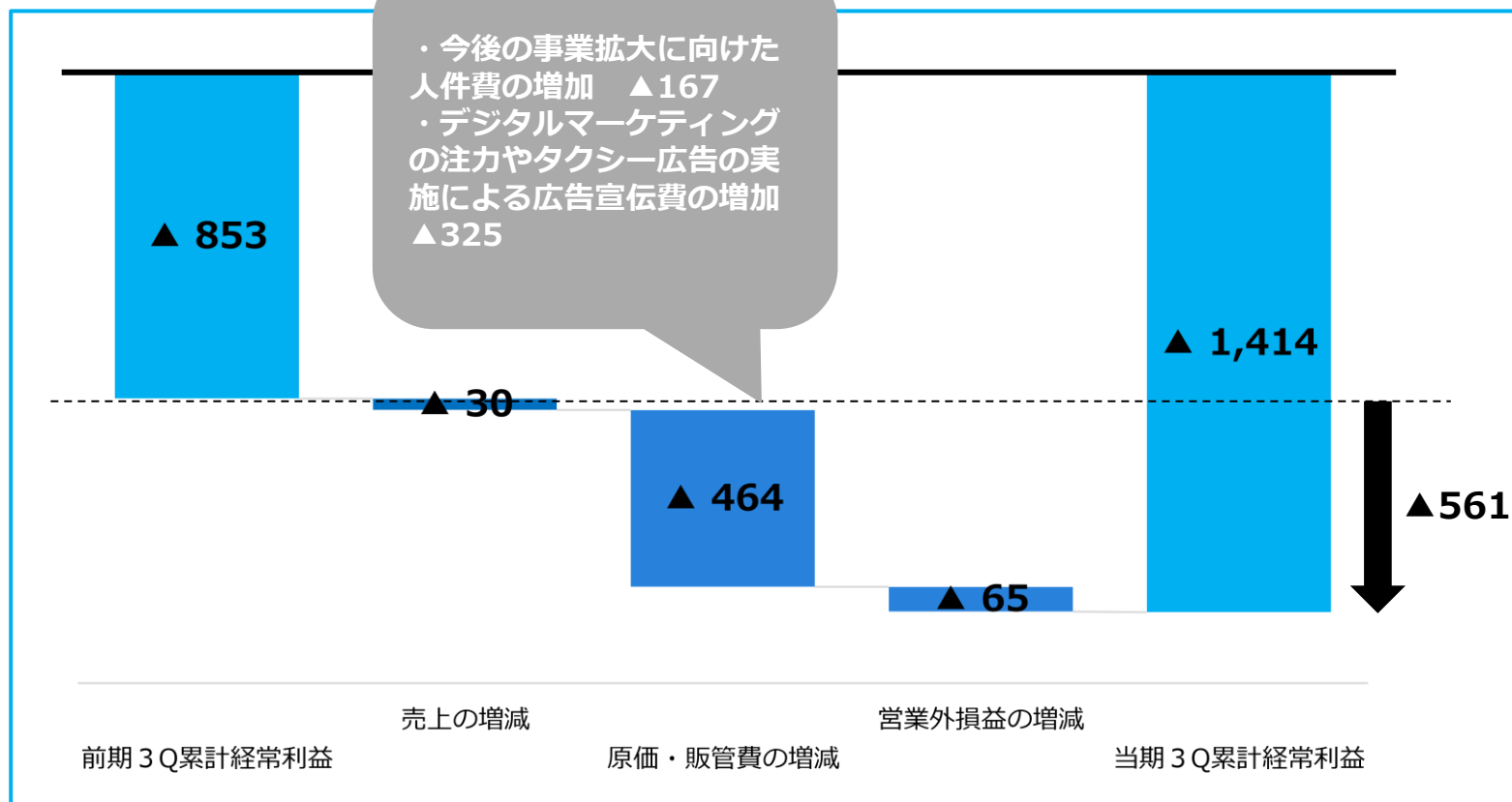
(単位: 百万円)

■ 増加 ■ 減少



前期比較 (YoY) 経常利益ウォーターフォール

(単位: 百万円)

■ 増加 ■ 減少


※ 増加・減少は利益に対しての影響です。

四半期比較 (QoQ) 連結PL

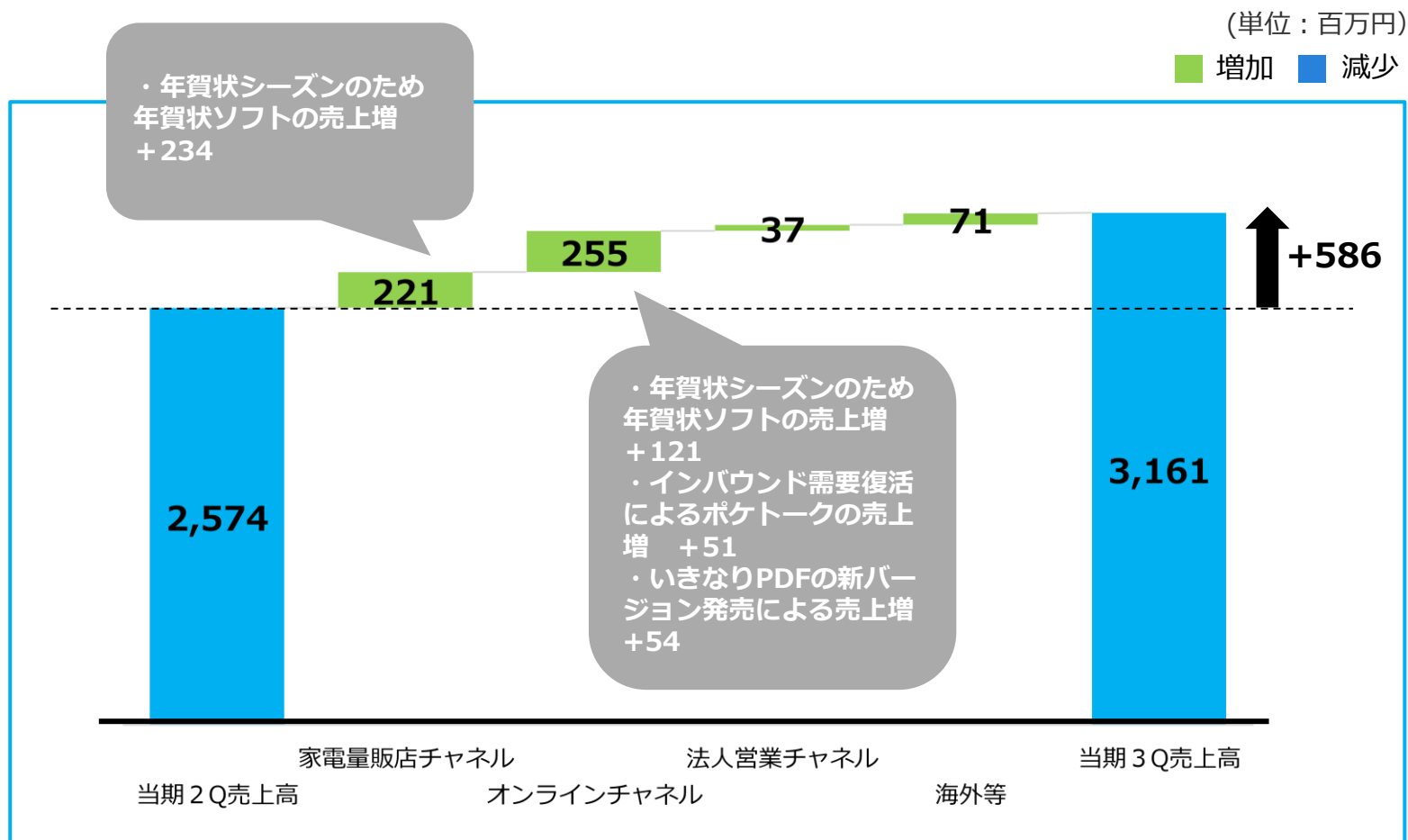
(単位：百万円)

	2023年3月期 2Q	2023年3月期 3Q	2023年3月期 2Q比		
			増減金額	増減率	
売上	2,574	3,161	+586	+22.8%	▲
営業利益	▲395	▲111	+283	+71.7%	▲
営業利益率	▲15.4%	▲3.5%	-	+11.8pt	▲
経常利益	▲338	▲294	+44	+13.0%	▲
経常利益率	▲13.1%	▲9.3%	-	+3.8pt	▲
四半期純利益	▲313	▲269	+43	+14.0%	▲
四半期純利益率	▲12.2%	▲8.5%	-	+3.7pt	▲

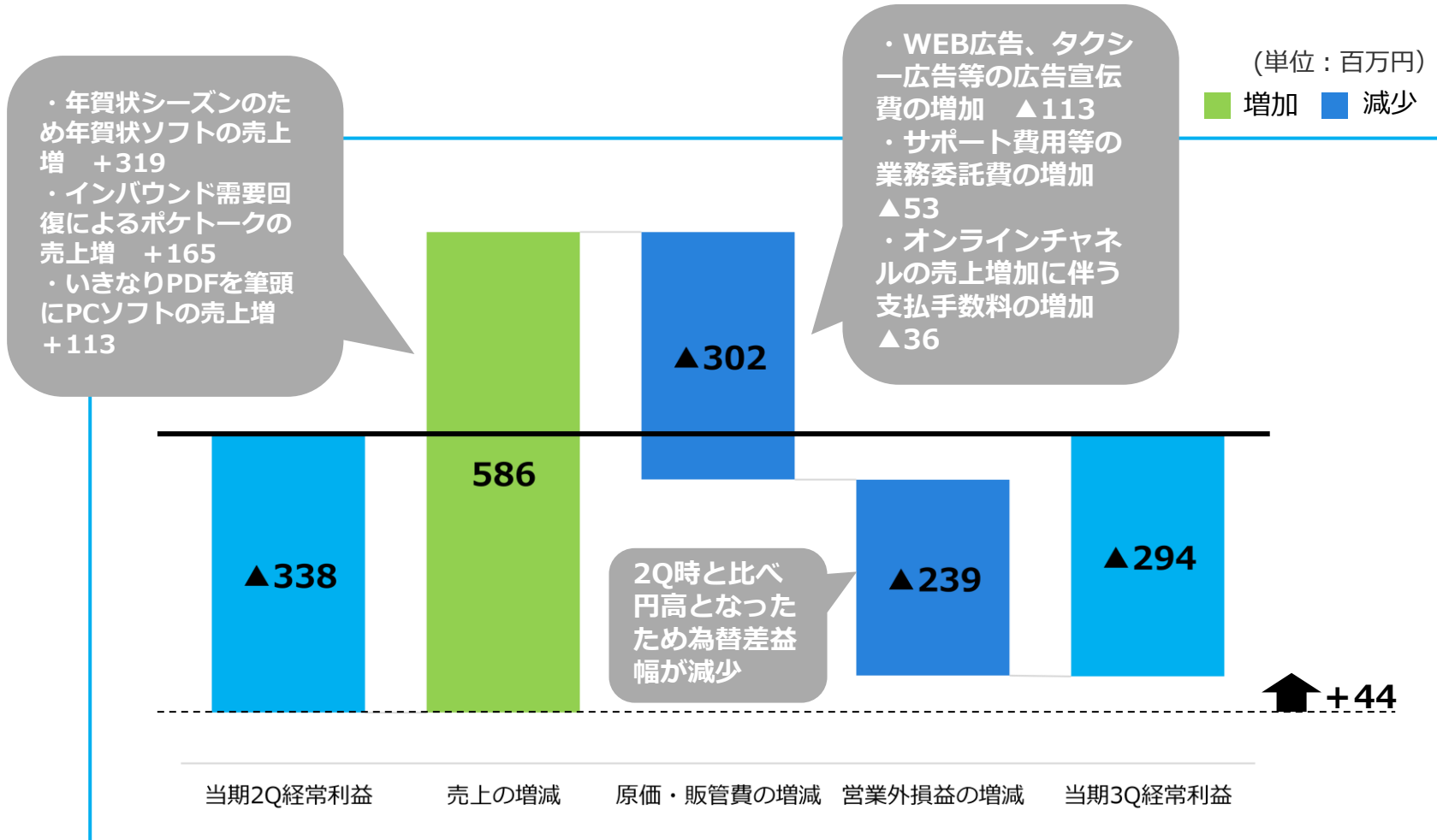
※ 四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

※ 前期より企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」を適用しております。

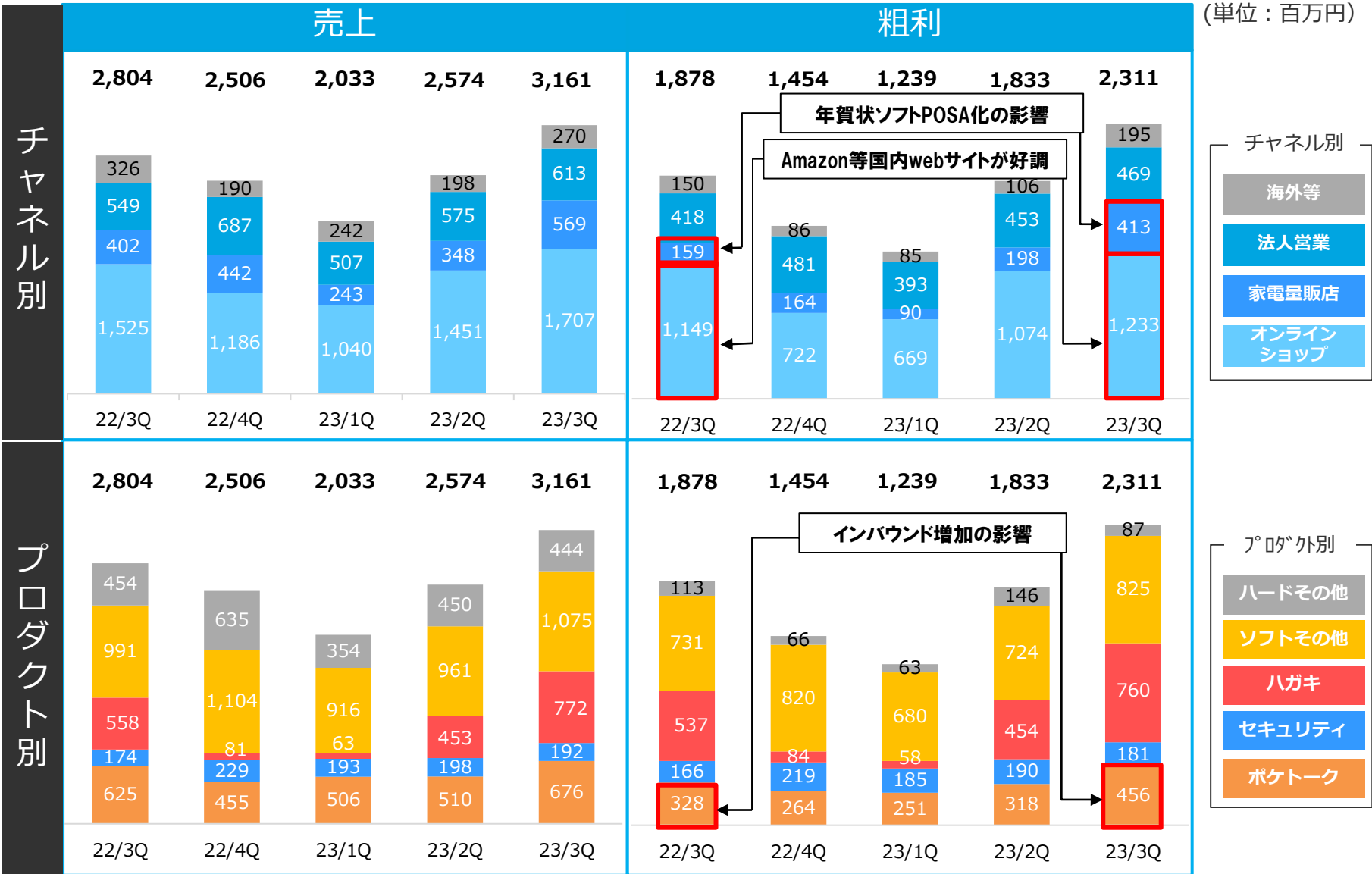
四半期比較（QoQ）売上ウォーターフォール（チャンネル別）



四半期比較（QoQ） 経常利益ウォーターフォール











※ 増加・減少は利益に対しての影響です。



※ 粗利は各製品・チャネルに直課できない開発費等の共通費を除いており、売上総利益とは一致しません。
 ※ 前期より企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」を適用しております。
 ※ 従来「家電量販店」に区分しておりました他社オンラインショップ販売を当期より「自社オンラインショップ」に追加し、名称を「オンラインショップ」に変更しております。このため、前期との比較については、変更後の数値に組み替えて比較を行なっています。

連結BS

(単位：百万円)

	2022年3月末	2022年12月末	前期比	
			増減金額	増減率
流動資産	12,846	13,764	+918	+7.1% 
うち現金及び預金	5,451	6,253	+802	+14.7% 
固定資産	7,134	7,235	+100	+1.4% 
総資産	19,981	20,999	+1,018	+5.1% 
流動負債	8,256	7,519	▲736	▲8.9% 
固定負債	1,765	2,440	+675	+38.2% 
純資産	9,959	11,039	+1,080	+10.8% 
自己資本比率	48.0%	48.7%	-	+0.7pt 

1. ハイライト

2. 事業の近況

3. 今後の事業戦略

4. 補足資料

ポケトークの近況

POCKETALK.



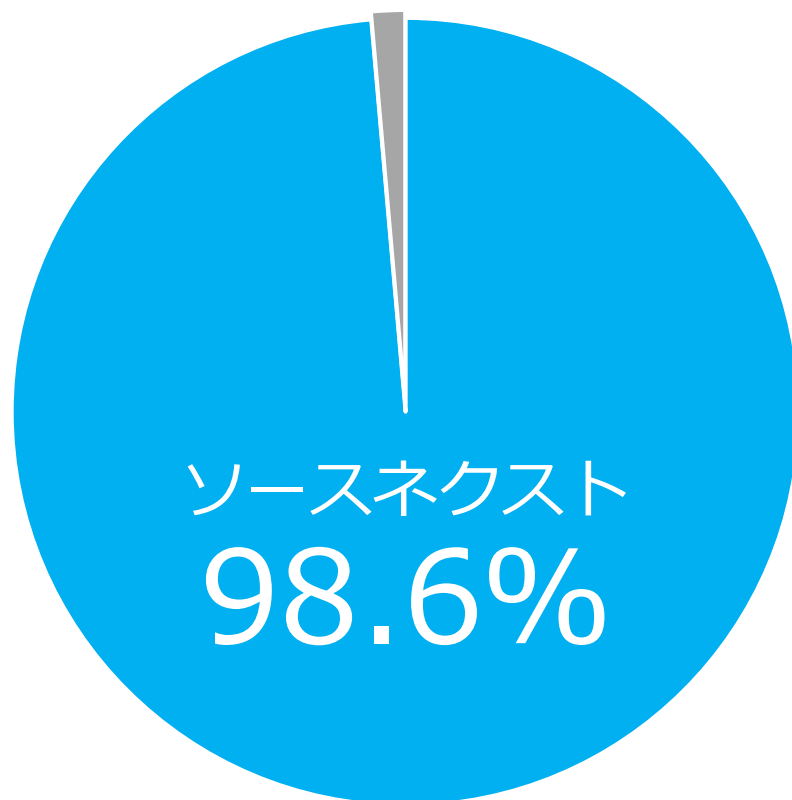
ミッション

言葉の壁をなくす

累計出荷台数100万台突破



2022年「翻訳機」年間販売金額シェア



61ヶ月連続販売金額シェア

第1位

22年12月
100万台突破

出典：「電子手帳・辞書」から「翻訳機」を抽出、
第三者機関による全国の有力家電量販店の販売実績をもとに自社集計

ポケットク字幕
日経優秀製品・サービス賞
最優秀賞受賞



ポケットクアプリ
GooglePlay ベストオブ 2022
部門賞受賞



GooglePlay
ベストオブ 2022
「部門賞」受賞

米国でのポケットーク展開インダストリー

POCKETALK™

**Logistics &
Distribution**

Healthcare

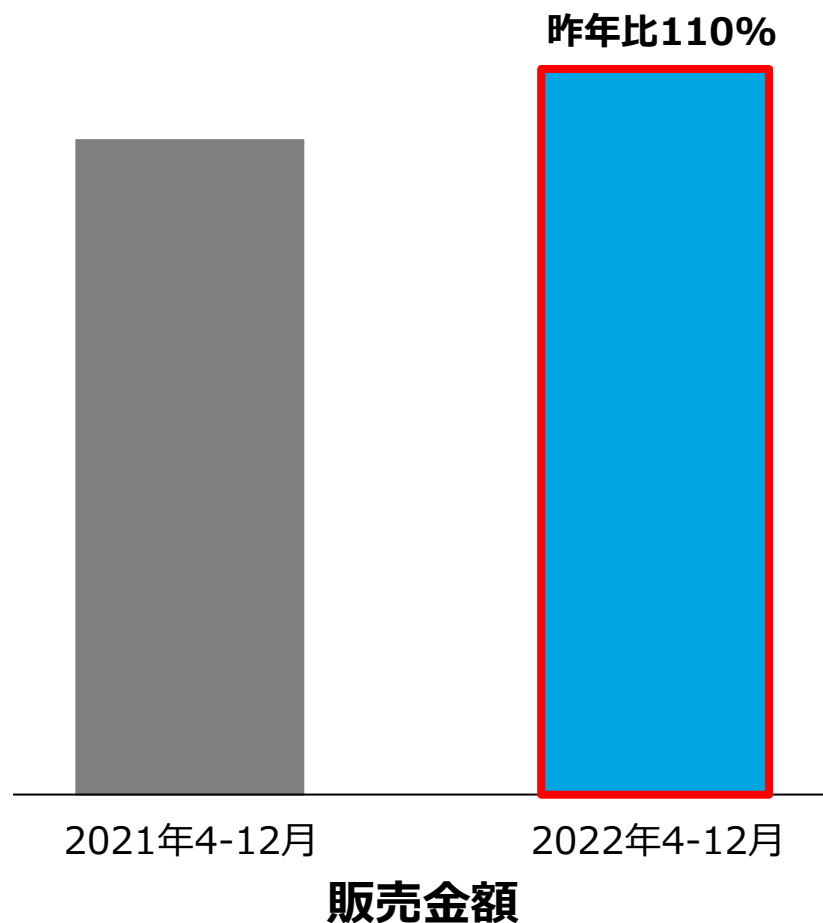
Education

Government

**Travel &
Entertainment**

米国での販売実績

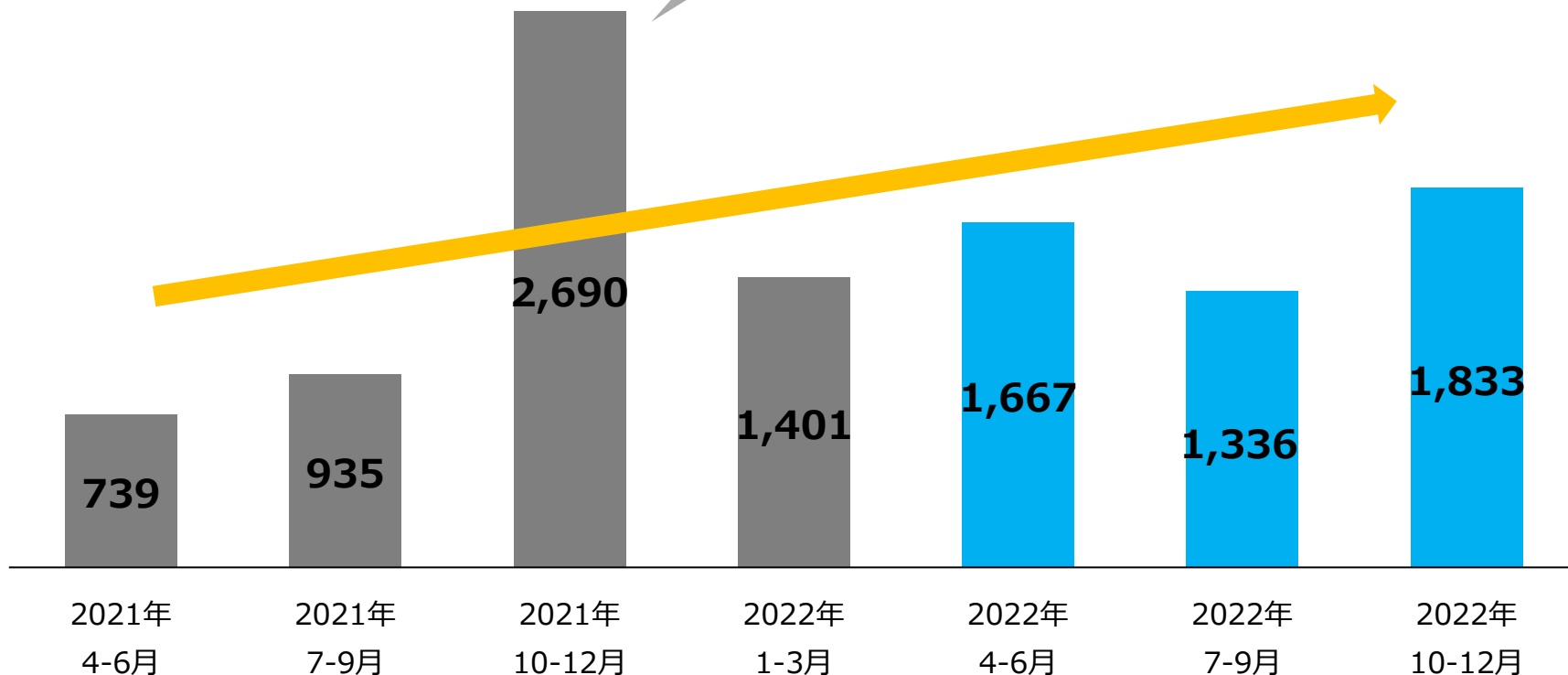
ポケットークの認知度向上により、
Amazon、B2Bともに実力値で前期比増



米国でのポケットーク売上高

(単位：千USD)

10月、11月にB2Bで大型受注があった影響で前期3Qの売上高が大きくなっている



POCKETALK

累計調達金額

37 億円



当第3四半期に
ポケットーク社にて
以下の投資元6社より約23億円の追加資金調達を実施

エクコムグローバル株式会社

DIMENSION2号合同会社

みやこ京大イノベーション2号
投資事業有限責任組合

株式会社コーエーテクモキャピタル

フォースタートアップスキャピタル
合同会社

株式会社海外通信・放送・郵便事業
支援機構

2022年10月12日
ポケットーク字幕の拡張版である新製品
「ポケットーク同時通訳」を発表

3月中旬提供開始予定

ポケットーク同時通訳

特許出願中

AutoMemoの近況



文字起こしAIボイスレコーダー「AutoMemo S」

■ 販売実績の上昇

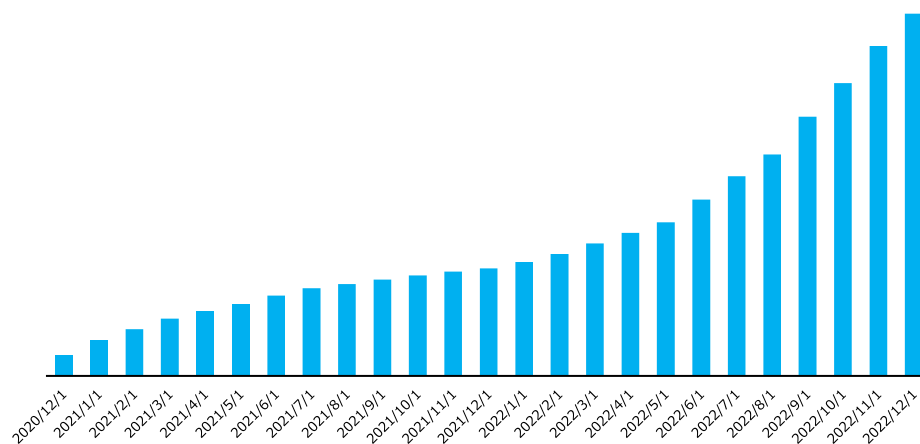
AutoMemo Sの発売以降、販売実績好調
AutoMemoシリーズの売上高 前期比328%

■ サブスク型テキスト化サービスの拡大

- ・ 2022年8月のオートメモ専用アプリの録音機能追加以降、ユーザー数は急速に増加
2022年12月時点で累計アカウント数50,000アカウントを突破
サブスク型テキスト化サービスの加入数も順調に増加



累計アカウント数



1. ハイライト

2. 事業の近況

3. 今後の事業戦略

4. 補足資料

2023年3月期の通期連結業績予想を以下の通り修正いたします。

(単位：百万円)

	2023年3月期 通期 連結		
	修正前	修正後	増減
売上	12,795	10,959	▲1,835
営業利益	▲850	▲2,058	▲1,208
経常利益	▲945	▲2,124	▲1,179
当期純利益	▲995	▲2,089	▲1,094
EPS(円)	▲7.34	▲15.42	-
年間配当金 (円)	-	-	-

期初の想定よりもポケットークの
インバウンド・アウトバウンド
需要の回復が遅れているため

- ※ 当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益（ソースネクスト社及びポケットーク社については「当期純利益」）
- ※ EPS：1株あたり当期純利益
- ※ ソースネクスト社の数字は連結会社間の内部取引等を消去した後の金額です。
- ※ ポケットーク社の数字はポケットーク社+Inc+BVの合算値であり、連結会社間の内部取引等を消去した後の金額です。
- ※ 当期純利益について連結数字と内訳合算値との差額は非支配株主に帰属する当期純利益です。
- ※ 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。

4Qの主要な施策

1

- インバウンド・アウトバウンド需要回復の期待に伴うポケットーク端末販売増加
- 新製品発売によるポケットーク事業の更なる基盤構築・強化

2

Owl/CAMの360度カメラ、AutoMemo、いきなりPDFなど、法人市場の最需要期に伴う法人ビジネスへの注力

インバウンド・アウトバウンドともに 回復傾向であるものの、 コロナ前の水準には届かず

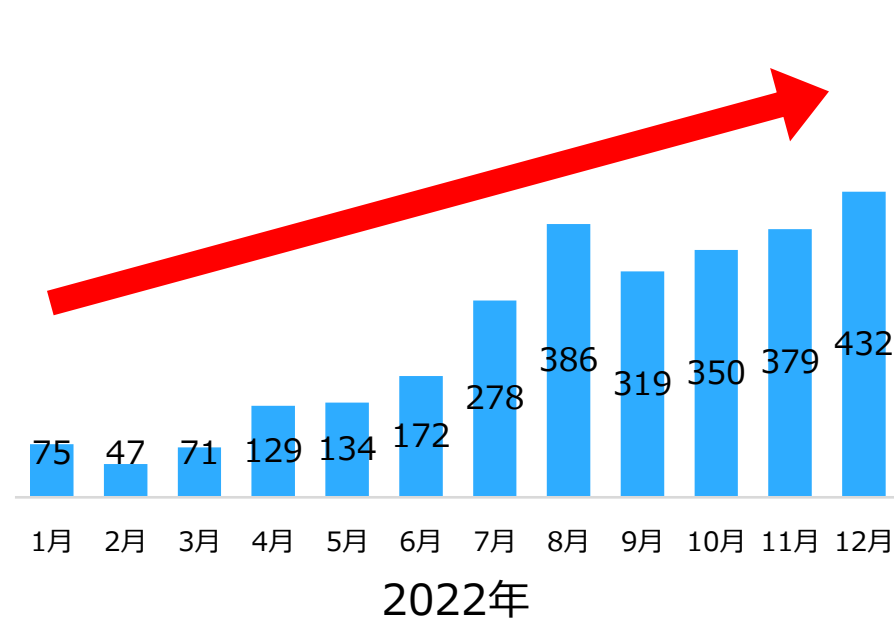
新型コロナウイルス前の
2019年比で54.2%
(2022年12月時点)

新型コロナウイルス前の
2019年比で25.2%
(2022年12月時点)

訪日外客数の推移 (単位：千人)



出国日本人数の推移 (単位：千人)



**2022年10月11日
水際対策規制の完全撤廃**

短期滞在者の
ビザ取得免除

入国者数の
上限撤廃

個人旅行の解禁

**中国政府の
ゼロコロナ政策転換**

**2023年5月8日
新型コロナウイルスの
感染症法上の分類を
「5類」に引き下げ**

今後インバウンド・アウトバウンド需要の
コロナ前の水準への復活が見込まれる

グローバル展開

- ・ 米国、ヨーロッパ市場の拡大
- ・ アジア市場の開拓

海外旅行復活

- ・ インバウンド・アウトバウンドの増加
(中国のゼロコロナ政策転換、5類への引き下げ)

新製品拡充

- ・ ポケットークコンソール、ポケットーク同時通訳など法人用製品拡充

POCKETALK®

プロモーション強化

- ・ 3月より3年ぶりの新TVCM放映

資金調達

サブスク収益拡大

- ・ ポケットークアプリ
- ・ ポケットーク同時通訳など

1. ハイライト

2. 事業の近況

3. 今後の事業戦略

4. 補足資料

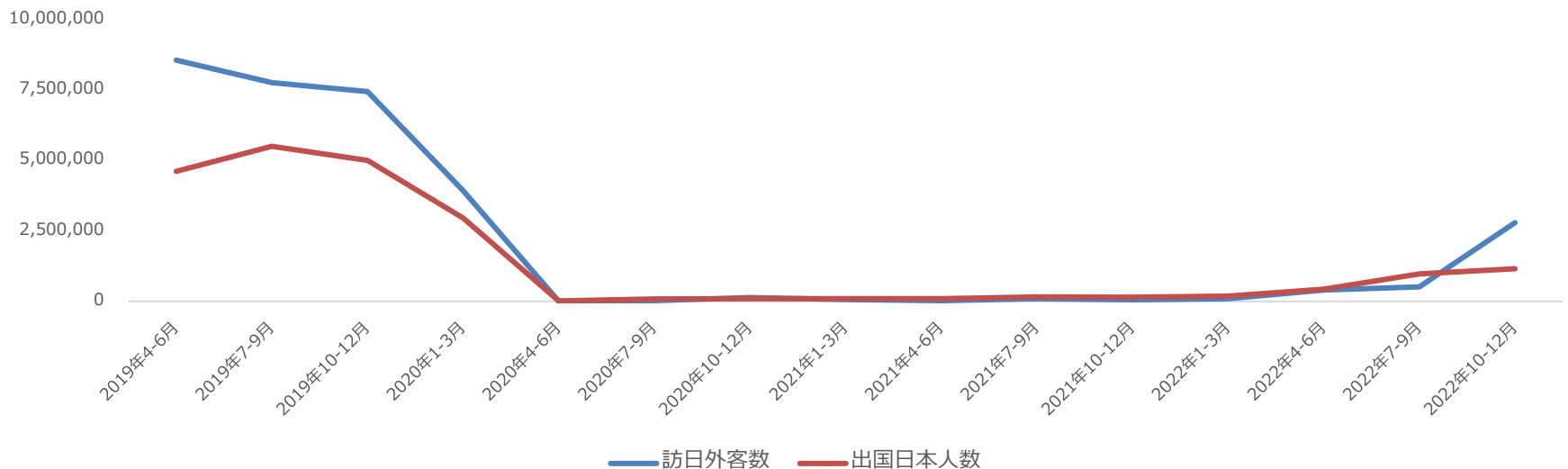
出入国者数

(単位：人)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
訪日外客数	2017年	2,295,668	2,035,771	2,205,664	2,578,970	2,294,717	2,346,442	2,681,518	2,477,428	2,280,406	2,595,148	2,378,079	2,521,262
	2018年	2,501,409	2,509,297	2,607,956	2,900,718	2,675,052	2,704,631	2,832,040	2,578,021	2,159,595	2,640,610	2,450,751	2,631,776
	2019年	2,689,339	2,604,322	2,760,136	2,926,685	2,773,091	2,880,041	2,991,189	2,520,134	2,272,883	2,496,568	2,441,274	2,526,387
	2020年	2,661,022	1,085,147	193,658	2,917	1,663	2,565	3,782	8,658	13,684	27,386	56,673	58,673
	2021年	46,522	7,355	12,276	10,853	10,035	9,251	51,055	25,916	17,720	22,113	20,682	12,084
	2022年	17,766	16,719	66,121	139,548	147,046	120,430	144,578	169,902	206,641	498,646	934,500	1,370,000

(単位：人)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出国日本人数	2017年	1,295,059	1,493,399	1,745,412	1,234,921	1,317,742	1,336,169	1,480,718	1,888,071	1,622,694	1,459,083	1,546,985	1,469,039
	2018年	1,423,727	1,390,518	1,807,063	1,356,679	1,383,847	1,421,649	1,557,980	2,033,435	1,630,088	1,646,230	1,673,473	1,629,345
	2019年	1,452,157	1,534,792	1,929,915	1,666,546	1,437,929	1,520,993	1,659,166	2,109,568	1,751,477	1,663,474	1,642,333	1,712,319
	2020年	1,380,762	1,316,820	272,697	3,915	5,539	10,663	20,295	37,137	31,606	31,049	30,703	33,033
	2021年	48,691	24,807	28,896	35,905	30,121	30,666	43,184	66,051	52,366	50,841	51,774	48,942
	2022年	74,982	46,932	70,678	129,168	134,013	171,529	277,945	386,412	319,165	349,557	379,200	432,100

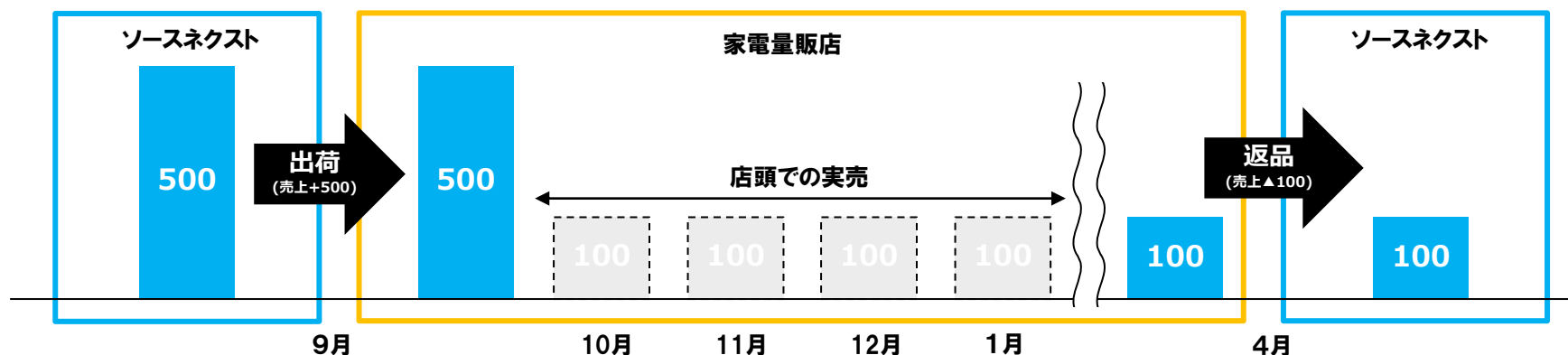


出典：日本政府観光局調べをもとに当社作成

年賀状ソフトの販売方式変更

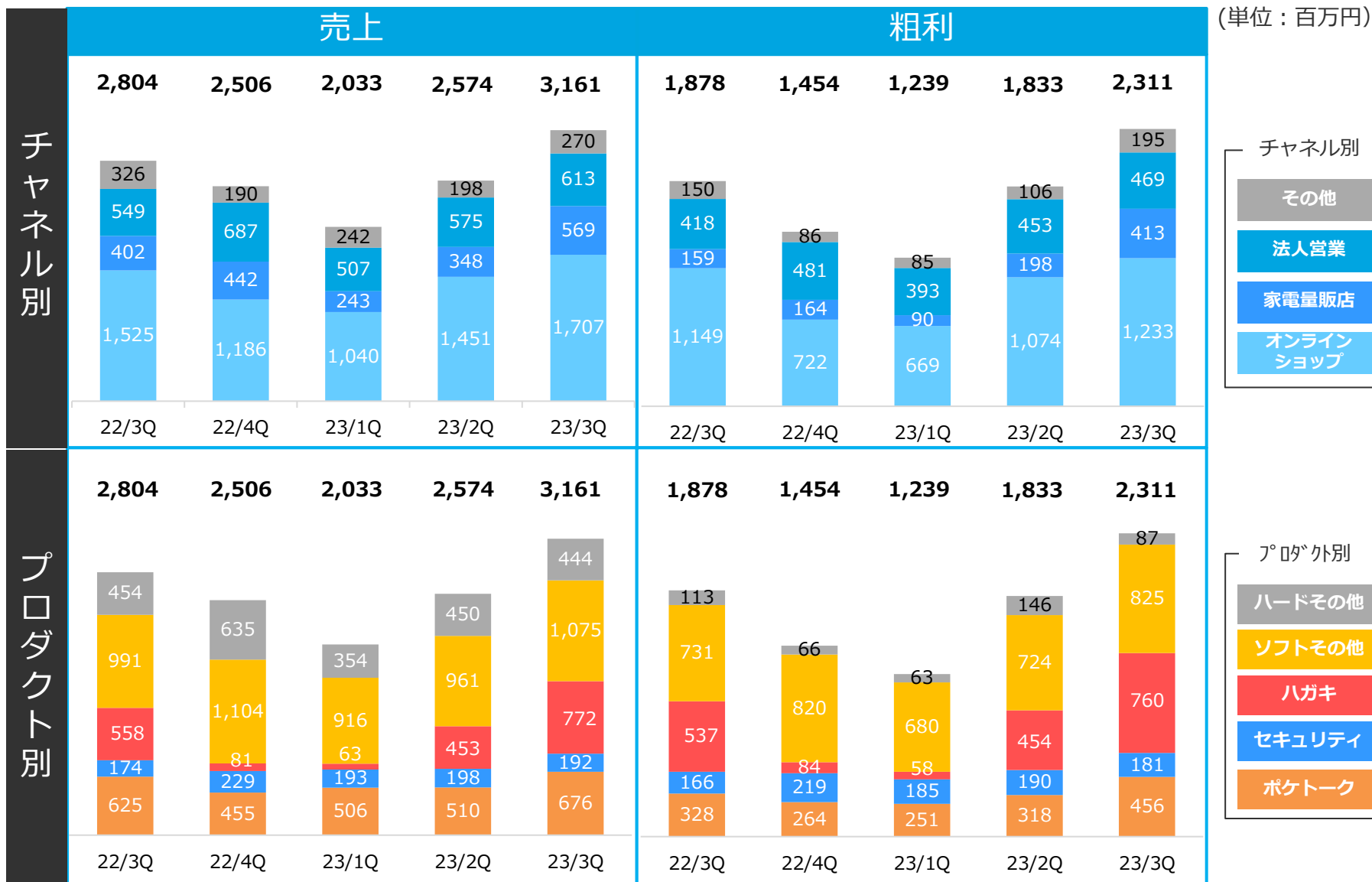
年賀状ソフトの販売方式を、POSレジでの支払い完了時に製品が有効化されるPOSA (Point of Sales Activation) に変更いたしました。その影響で、従来2Qにおける出荷のタイミングで計上されていた売上が、実売に応じて計上される形に変更されました。

従来の販売方式



変更後の販売方式





※ 粗利は各製品・チャネルに直課できない開発費等の共通費を除いており、売上総利益とは一致しません。

※ 前期より企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」を適用しております。

※ 従来「家電量販店」に区分しておりました他社オンラインショップ販売を当期より「自社オンラインショップ」に追加し、名称を「オンラインショップ」に変更しております。このため、前期との比較については、変更後の数値に組み替えて比較を行なっています。

次の常識をつくる

We Source What's Next.



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更することがあります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんので、ご了承ください。